

2014年12月末 変額年金保険(特別勘定) ディスクロージャー資料

プルデンシャル生命保険株式会社

本社／〒100-0014 東京都千代田区永田町2丁目13番10号

プルデンシャルタワー

パートナーフォーユー

カスタマーサービスセンター 0120-810740 (通話料無料)

※ 当資料は、ご契約者への情報提供を目的として作成したものであり、
保険販売を目的としたものではありません。
変額年金保険については、現在新規のお取り扱いを停止しています。

目 次

変額年金保険に関するご注意

…P. 2 - 4

運用の現状 年金原資保証型

…P. 5

安定型

…P. 6

安定型が運用対象としている投資信託運用レポート

ワールド・インデックス・ファンドVA安定型（適格機関投資家専用） …P. 7 - 8

バランス型

…P. 9

バランス型が運用対象としている投資信託運用レポート

ワールド・インデックス・ファンドVAバランス型（適格機関投資家専用） …P. 10 - 11

積極型

…P. 12

積極型が運用対象としている投資信託運用レポート

ワールド・インデックス・ファンドVA積極型（適格機関投資家専用） …P. 13 - 14

保有契約高 どれぐらいの人が契約しているの？

…P. 15

変額年金保険に関するご注意

変額年金保険について、特にご注意いただきたい事項がありますので、必ずご一読ください。

1. ご契約にかかる諸費用

変額年金保険では、ご契約にかかる諸費用をお客様にご負担いただきます。また、諸費用は積立金より控除いたします。以下の他、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金がかかりますが、費用の発生前に金額や割合を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は各特別勘定がその保有資産から負担するため、ユニットバリュー*に反映することとなります。したがって、お客様はこれらの費用を間接的に負担することとなります。

* ユニットバリューとは、変額年金保険の各特別勘定設定時の資産を 100 として、その後の運用成果による資産の増減を指数で示したものです。なお、詳しくは「**変額年金保険のご案内** **リスク等説明書面**」をご覧ください。

● ご契約にかかる諸費用

	項目	金額	目的	控除する時期
積立期間中	保険契約管理費	前日末の特別勘定資産に、年率1.12%の1/365を乗じた金額	基本保険金額を死亡保険金額の最低保証とするための費用、災害死亡保険金のための費用、会社の経費に充てるための費用	毎日、その日の終わりの特別勘定資産から控除します
	信託報酬等*1	詳しくは下記「信託報酬等について」をご覧ください。	特別勘定の運用に関わる費用(特別勘定の投資対象となる投資信託の信託報酬等)	投資信託の純資産総額から毎日控除されます
	最低年金原資保証コスト(「年金原資保証あり」タイプのみ)	前日末の積立金額に、積立期間に対応する最低年金原資保証コスト*2の年率の1/12を乗じた金額	年金原資の最低額(＝一時払保険料)*3を保証するための費用	毎月月始の日の始めの積立金額から控除します
年金支払期間中	年金管理費	年金額の1%	年金支払のための管理費用	年金開始日以後、年金支払日に積立金から控除します

***1 信託報酬等について**

信託報酬とは、投資信託の運用や管理に対する費用としてご負担いただくもので、特別勘定の投資対象となる投資信託の純資産総額に対し、各特別勘定毎に設定されている信託報酬率を乗じた金額が毎日控除されます。その他、組み入れている投資信託の監査費用がかかります。また、当該投資信託を解約する場合、各特別勘定ごとに設定される下記「特別勘定の投資対象となる投資信託の信託財産留保額」の金額が信託財産留保額として解約時の基準価額より控除されます。

年金原資保証ありタイプの場合

年金原資保証型で投資対象としている投資信託(TOPIX連動型上場投資信託)の信託報酬は年率 0.11%となっています。

年金原資保証なしタイプの場合

特別勘定名	安定型	バランス型	積極型
投資対象となる 投資信託	ワールド・インデックス・ ファンド VA安定型 (適格機関投資家専用)	ワールド・インデックス・ ファンド VAバランス型 (適格機関投資家専用)	ワールド・インデックス・ ファンド VA積極型 (適格機関投資家専用)
信託報酬率	年率 0.28%	年率 0.28%	年率 0.28%
信託財産留保額	投資信託の基準価額の 0.1% (1万口につき)	投資信託の基準価額の 0.2% (1万口につき)	投資信託の基準価額の 0.3% (1万口につき)

※投資対象となる投資信託、信託報酬率および信託財産留保額は、将来に向かって変更される可能性があります。
※信託報酬には別途消費税がかかります。

*2 積立期間に対応する最低年金原資保証コスト(年率)

積立期間	年率	積立期間	年率	積立期間	年率	積立期間	年率
10年	0.98%	15年	0.42%	20年	0.24%	25年	0.19%
11年	0.87%	16年	0.38%	21年	0.23%	26年	0.18%
12年	0.76%	17年	0.35%	22年	0.22%	27年	0.17%
13年	0.64%	18年	0.31%	23年	0.21%	28年	0.16%
14年	0.53%	19年	0.28%	24年	0.20%	29年	0.15%
						30年以上	0.14%

*3 積立期間中(年金開始日前)に基本保険金額を減額した場合には、減額後の基本保険金額

● 積立金移転手数料

「年金原資保証なし」タイプの場合は、積立金の移転(スイッチング)を年12回まで行うことができます。これを超えた場合、つぎの積立金移転手数料がかかります。

積立金移転回数	手数料	控除方法
同一保険年度内12回目まで	無料	—
同一保険年度内13回目から	1回につき1,000円	積立金より控除

● 解約控除

契約日より10年以内にご契約を解約された場合または減額された場合にお支払いする解約返戻金額は、解約日または減額日の積立金額に、経過年数に応じた下記の解約控除率を乗じた金額を、積立金から差し引いた金額とします。

したがって、ご契約後短期で解約された場合、運用実績がプラスの場合でも、お払い込みいただいた一時払保険料より少ない金額となり、損失が生じるおそれがあります。

経過年数	0年	1年	2年	3年	4年	5年
控除率	7.0%	6.3%	5.6%	4.9%	4.2%	3.5%
経過年数	6年	7年	8年	9年	10年以上	
控除率	2.8%	2.1%	1.4%	0.7%	0.0%	

※ 1年未満の月数が端数として生じたときは、経過月数により期間按分して解約控除率を計算します。1年未満の日数については、切り捨てて取り扱います。

2. 投資リスク

- ・ 変額年金保険は、特別勘定の運用実績に応じて保険金額や将来の年金原資額等が変動する仕組みの保険です。
- ・ 特別勘定に属する資産の運用実績に影響を与える指標としては、金利、為替価格、株価、債券価格、その他の有価証券相場等があります。
- ・ 変額年金保険においては、運用実績が将来の年金額や解約返戻金額に反映されますので、これらの指標の変動による影響を受けます。

したがって、株価の下落や金利の上昇および信用悪化に伴う債券価格の下落、為替の変動(主に円高)などにより、将来受け取る年金額や解約返戻金額が、一時払保険料を下まわる可能性があり、損失が生じるおそれがあります*。

* 積立期間中の死亡保険金額は、基本保険金額(＝一時払保険料)が最低保証されます。

3. つぎの点にもご注意ください

- ・ 「年金原資保証あり」タイプの場合は、将来受け取る年金の原資となる金額について、一時払保険料額が最低保証されます。ただし、最低年金原資保証コストがかかるため、「年金原資保証なし」タイプにくらべ、運用成果への期待は低くなります。
- ・ ご契約の途中で「年金原資保証なし」タイプから「年金原資保証あり」タイプへの変更はできません。
- ・ 変額年金保険は、プルデンシャル生命保険を引受保険会社とする生命保険商品です。

年金原資保証型(2014年12月末現在)

当特別勘定の概要

主に国内外の株式および公社債に投資し、年金支払開始時の積立金の安全性に留意して運用を行います。各資産への基本資産配分は、公社債(円建)75%、株式等(円建)25%とし、外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。

運用担当チームリーダーのコメント

当勘定の運用は年金原資を保証することから、基本的には公社債(円建)75%、株式等(円建)25%を目標ポートフォリオとして運用いたします。市場の動向を見極めつつ、年金契約の年限に合わせて公社債(円建)を組入れて年金原資を確保し、一方で株式等(円建)を組入れることでリターンのさらなる向上を目指します。

* 運用担当チームリーダーのコメントについては、現時点での投資判断を示したものであり、将来の市場動向を保証するものではありません。

運用実績

ユニットバリューの推移



* ユニットバリューとは、変額年金保険の各特別勘定設定時の資産を100として、その後の運用成果による資産の増減を指数で示したものです。

* このグラフは過去の実績を示したものであり、将来の成果を予測するものではありません。

ユニットバリューの騰落率

期間	(%)
直近6ヶ月	3.63
直近1年	3.31
直近3年	23.39
直近5年	22.56
設定来	18.48

* この騰落率は特別勘定年金原資保証型全体についてのものであり、個々のご契約に対するものではありません。

資産の内訳(2014年12月末)

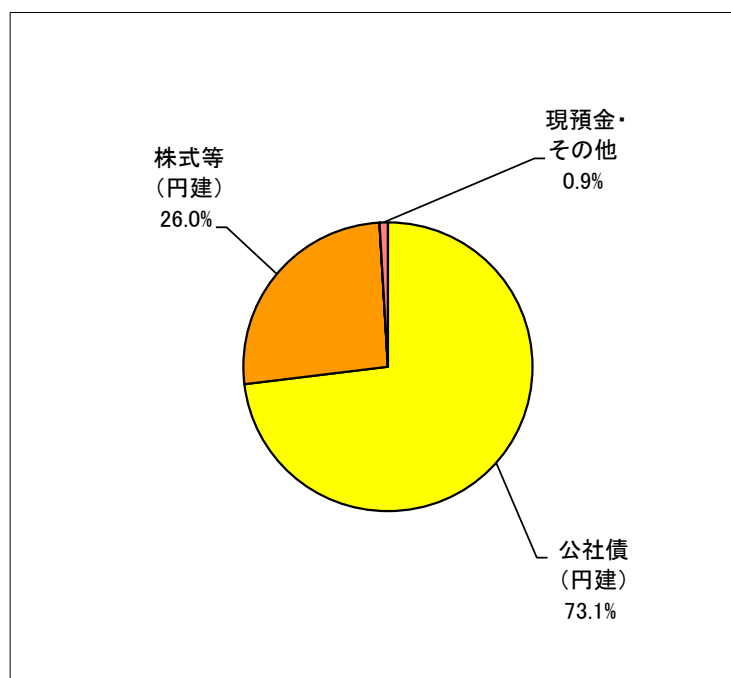
資産種類別

区 分	金額(百万円)
公社債(円建)	1,536
株式等(円建)	546
公社債(外貨建)	—
外国株式等	—
現預金・その他	19
合 計	2,103

* 短期(実需)の為替予約を除きオフバランス取引はございません。

通貨種類別

区 分	占率(%)
日本円	100.0%
米ドル	—
ユーロ	—
英ポンド	—
カナダドル	—
合 計	100.0%



安定型(2014年12月末現在)

当特別勘定の概要

国内外の株式および公社債を実質的な主要投資対象とし、安定的な資産の成長を目指して運用を行います。この特別勘定は、野村アセットマネジメント株式会社が運用する投資信託「ワールド・インデックス・ファンドVA安定型(適格機関投資家専用)」で運用します。また、各資産への基本資産配分は、国内株式15%、外国株式15%、国内債券55%、外国債券15%とし、外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。

運用担当チームリーダーのコメント

安定した運用成果を獲得することを目標として、国内債券55%、国内株式15%、外国債券15%、外国株式15%を基本資産配分とした投資信託での運用を行っております。引き続き、高水準の組み入れ比率を保っております。

* 運用担当チームリーダーのコメントについては、現時点での投資判断を示したものであり、将来の市場動向を保証するものではありません。

運用実績

ユニットバリューの推移



* ユニットバリューとは、変額年金保険の各特別勘定設定時の資産を100として、その後の運用成果による資産の増減を指数で示したものです。
* このグラフは過去の実績を示したものであり、将来の成果を予測するものではありません。

ユニットバリューの騰落率

期間	(%)
直近6ヶ月	7.89
直近1年	8.46
直近3年	40.23
直近5年	32.62
設定来	22.36

* この騰落率は特別勘定安定型全体についてのものであり、個々のご契約に対するものではありません。

資産の内訳(2014年12月末)

資産種類別

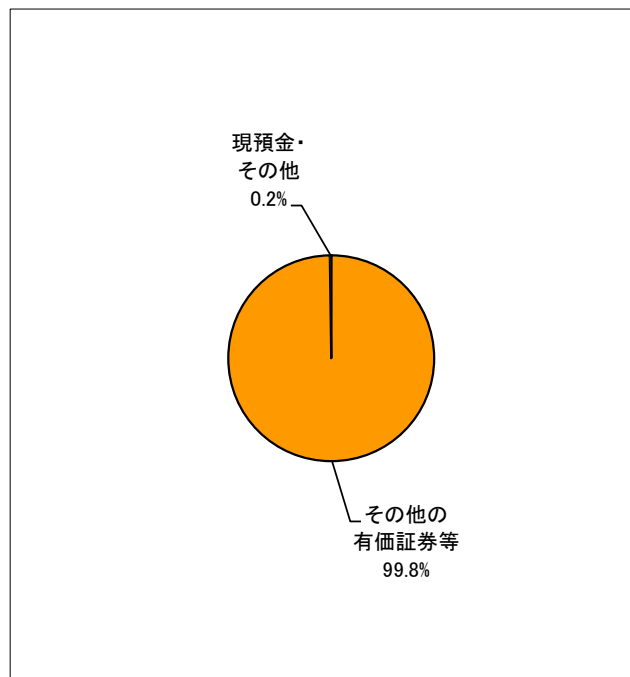
区分	金額(百万円)
その他の有価証券等	138
現預金・その他	0
合計	138

* オフバランス取引はございません。
* その他の有価証券等は、ワールド・インデックス・ファンドVA安定型(適格機関投資家専用)を指します。

保有銘柄

銘柄名	占率(%)
ワールド・インデックス・ファンドVA安定型(適格機関投資家専用)	100.0

* 占率はその他の有価証券時価残高に対してのものです。
* ワールド・インデックス・ファンドVA安定型(適格機関投資家専用)は、「国内株式マザーファンド」「外国株式MSCI-KOKUSAIマザーファンド」「国内債券NOMURA-BPI総合マザーファンド」「外国債券マザーファンド」の各受益証券を主要投資対象として、投資を行います。
なお、株式および公社債等に直接投資する場合があります。



ワールド・インデックス・ファンドVA安定型（適格機関投資家専用）

- 当資料は、変額年金保険特別勘定の安定型が運用対象としている投資信託について運用状況を開示する資料であり、生命保険契約の販売または当該投資信託の勧誘を目的とするものではありません。
- 当資料で開示される投資信託の運用状況等は、あくまで参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有しているわけではありません。特別勘定安定型のユニットバリュー等については、「変額年金保険ディスクロージャー資料」にてご確認ください。
- 特別勘定安定型のユニットバリューの値動きは、特別勘定が投資している投資信託の値動きとは異なります。これは特別勘定が投資信託のほか、に保険契約の異動等に備えて一定の現預金等を保有していることや保険関係費用・運用に関する費用等の一部を控除することによるものです。
- 当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の運用成果を示唆または保証するものではありません。
- 当資料は、野村アセットマネジメント株式会社による運用報告を、ブルデンシャル生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、ブルデンシャル生命保険株式会社は一切の責任を負いません。

・主要投資対象

内外の株式および公社債。主に「国内株式マザーファンド」「外国株式MSCI-KOKUSAIマザーファンド」「国内債券NOMURA-BPI総合 マザーファンド」「外国債券マザーファンド」の各受益証券を通じて投資が行なわれます。

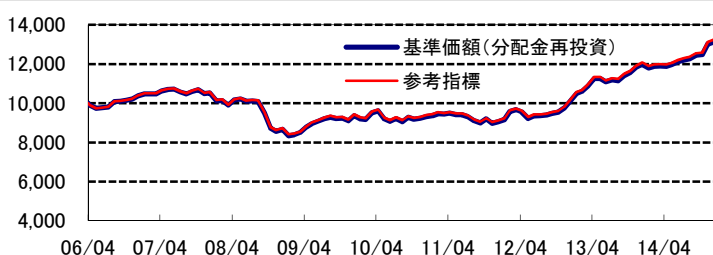
・運用方針

内外の株式、内外の債券を実質的な主要対象とし、信託財産の成長を目指して運用を行ないます。各資産の運用は後述の括弧内のインデックスへの連動性に配慮したインデックス運用です。各資産配分比率は、国内株式(TOPIX) 15.0%、外国株式(MSCI-KOKUSAI指数(円ベース・為替ヘッジなし)) 15.0%、国内債券(NOMURA-BPI総合) 55.0%、外国債券(シティ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)) 15.0%を基本とし、原則1ヶ月毎に比率調整を行ないます。原則為替ヘッジは行ないません。

設定来の運用実績

2014年12月30日 現在

累積収益の推移 (設定日前日 = 10,000として指数化; 月次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の期間収益率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

純資産総額		
1.4 億円		
期間収益率		
期間	ファンド	参考指標
1ヵ月	0.9%	1.0%
3ヵ月	5.5%	5.6%
6ヵ月	8.4%	8.5%
1年	9.6%	9.7%

設定来	31.3%	32.5%
-----	-------	-------

設定来 = 2006年4月21日 以降

分配金(1万口当たり、課税前)の推移	
2014年5月	5 円
2013年5月	5 円
2012年5月	0 円
2011年5月	0 円
2010年5月	0 円
設定来累計	20 円

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

※ファンドの分配金は分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

資産内容

2014年12月30日 現在

資産別配分		
資産	純資産比	内先物
国内株式	14.8%	0.3%
外国株式	15.0%	0.3%
株式計	29.9%	0.7%
国内債券	54.8%	-
外国債券	14.8%	-
債券計	69.6%	-
その他の資産	1.2%	-
合計(※)	-	0.7%

※先物の建玉がある場合は、合計欄を表示していません。

・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

国・地域別配分			
株式		債券	
国・地域	純資産比	国・地域	純資産比
日本	14.8%	日本	54.8%
アメリカ	9.3%	アメリカ	5.9%
イギリス	1.3%	イタリア	1.6%
カナダ	0.6%	フランス	1.5%
スイス	0.6%	イギリス	1.3%
その他の国・地域	3.3%	その他の国・地域	4.5%
合計	29.9%	合計	69.6%

・国・地域は、原則発行国・地域で区分しております。

資産別組入上位5銘柄(マザーファンドベース)

2014年12月30日 現在

【国内株式】

銘柄	業種	純資産比
トヨタ自動車	輸送用機器	5.0%
三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	2.5%
ソフトバンク	情報・通信業	1.8%
三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	1.6%
本田技研工業	輸送用機器	1.5%

【外国株式】

銘柄	国・地域	業種	純資産比
APPLE INC	アメリカ	コンピュータ・周辺機器	2.2%
EXXON MOBIL CORP	アメリカ	石油・ガス・消耗燃料	1.3%
MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア	1.2%
JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	医薬品	0.9%
WELLS FARGO CO	アメリカ	商業銀行	0.9%

【国内債券】

銘柄	種別	純資産比
国庫債券 利付(5年)第116回	国債	1.3%
国庫債券 利付(5年)第117回	国債	1.2%
国庫債券 利付(5年)第122回	国債	1.0%
国庫債券 利付(5年)第106回	国債	1.0%
国庫債券 利付(10年)第305回	国債	1.0%

【外国債券】

銘柄	国・地域	純資産比
US TREASURY N/B	アメリカ	0.6%
US TREASURY N/B	アメリカ	0.6%
FRANCE GOVERNMENT O.A.T	フランス	0.6%
US TREASURY N/B	アメリカ	0.6%
US TREASURY N/B	アメリカ	0.6%

ワールド・インデックス・ファンドVA安定型（適格機関投資家専用）

- ・当資料は、変額年金保険特別勘定の安定型が運用対象としている投資信託について運用状況を開示する資料であり、生命保険契約の販売または当該投資信託の勧誘を目的とするものではありません。
- ・当資料で開示される投資信託の運用状況等は、あくまで参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有しているわけではありません。特別勘定安定型のユニットバリュー等については、「変額年金保険ディスクロージャー資料」にてご確認ください。
- ・特別勘定安定型のユニットバリューの値動きは、特別勘定が投資している投資信託の値動きとは異なります。これは特別勘定が投資信託のほか、に保険契約の異動等に備えて一定の現預金等を保有していることや保険関係費用・運用に関する費用等の一部を控除することによるものです。
- ・当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の運用成果を示唆または保証するものではありません。
- ・当資料は、野村アセットマネジメント株式会社による運用報告を、ブルデンシャル生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、ブルデンシャル生命保険株式会社は一切の責任を負いません。

当月の運用環境

国内債券市場	低金利政策の長期化観測や、国内株式市場の下落などを受けて安全資産としての国債需要が高まったことなどを背景に、国内債券利回りは長期債中心に低下（価格は上昇）しました。
外国債券市場	堅調な経済指標を受けて米国債券利回りは短期債中心にやや上昇（価格は下落）しましたが、ECB（欧州中央銀行）による追加金融緩和期待やギリシャの政局不安などに伴う欧州株式市場の下落などを背景に、欧州債券利回りは低下（価格は上昇）しました。外国債券全体では値上がりとなりました。
国内株式市場	2014年7-9月期の実質GDP（国内総生産）成長率が下方修正されたことや、ロシア株式・通貨の急落、ギリシャの政局不安など欧州の不透明要因を背景に、東証株価指数（TOPIX）は下落しました。
外国株式市場	好調な経済指標などを背景に米国株式市場が上昇する一方、ロシア株式・通貨の急落やギリシャの政局不安などを背景に欧州株式市場は下落しました。外国株式全体では上昇しました。
為 替	米国の好調な経済指標などを背景に米ドルは対円で上昇（円安）しましたが、ECB（欧州中央銀行）による追加金融緩和期待やギリシャの政局不安などを背景にユーロは対円で下落（円高）しました。

当月の収益率

当ファンドが投資している「国内株式マザーファンド」、「外国株式MSCI-KOKUSAIマザーファンド」、「国内債券NOMURA-BPI総合マザーファンド」、「外国債券マザーファンド」の当月のパフォーマンスは、それぞれ-0.1%、1.3%、1.0%、1.1%となりました。それを受けて、当ファンドの当月のパフォーマンスは0.9%となりました。

バランス型(2014年12月末現在)

当特別勘定の概要

国内外の株式および公社債を実質的な主要投資対象とし、バランスのとれた資産の成長を目指して運用を行います。
この特別勘定は、野村アセットマネジメント株式会社が運用する投資信託「ワールド・インデックス・ファンドVA バランス型(適格機関投資家専用)」で運用します。また、各資産への基本資産配分は、国内株式22.5%、外国株式27.5%、国内債券20%、外国債券30%とし、外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。

運用担当チームリーダーのコメント

ある程度リスクを取り、高めの運用成果を獲得することを目標として、国内債券20%、国内株式22.5%、外国債券30%、外国株式27.5%を基本資産配分とした投資信託での運用を行っております。引き続き、高水準の組み入れ比率を保ってまいります。

* 運用担当チームリーダーのコメントについては、現時点での投資判断を示したものであり、将来の市場動向を保証するものではありません。

運用実績

ユニットバリューの推移



- * ユニットバリューとは、変額年金保険の各特別勘定設定時の資産を100として、その後の運用成果による資産の増減を指数で示したものです。
- * このグラフは過去の実績を示したものであり、将来の成果を予測するものではありません。

ユニットバリューの騰落率

期間	(%)
直近6ヶ月	12.50
直近1年	12.92
直近3年	74.45
直近5年	56.02
設定来	31.72

* この騰落率は特別勘定バランス型全体についてのものであり、個々のご契約に対するものではありません。

資産の内訳(2014年12月末)

資産種類別

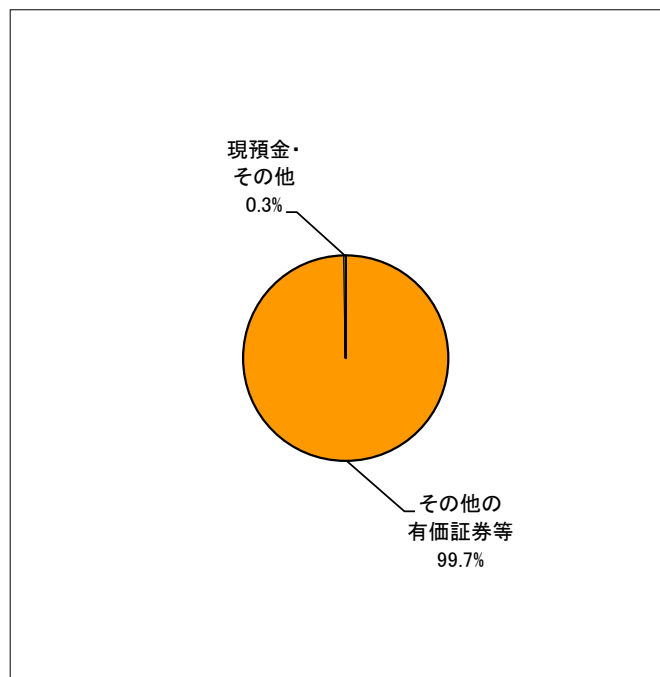
区分	金額(百万円)
その他の有価証券等	333
現預金・その他	0
合計	334

- * オフバランス取引はございません。
- * その他の有価証券等は、ワールド・インデックス・ファンドVAバランス型(適格機関投資家専用)を指します。

保有銘柄

銘柄名	占率(%)
ワールド・インデックス・ファンドVAバランス型(適格機関投資家専用)	100.0

- * 占率はその他の有価証券時価残高に対してのものです。
 - * ワールド・インデックス・ファンドVAバランス型(適格機関投資家専用)は、「国内株式マザーファンド」「外国株式MSCI-KOKUSAIマザーファンド」「国内債券NOMURA-BPI総合マザーファンド」「外国債券マザーファンド」の各受益証券を主要投資対象として、投資を行ないます。
- なお、株式および公社債等に直接投資する場合があります。



【特別勘定バランス型が運用対象としている投資信託の運用レポート】(月次) 2014年12月30日 現在
ワールド・インデックス・ファンドVAバランス型 (適格機関投資家専用)

- 当資料は、変額年金保険特別勘定のバランス型が運用対象としている投資信託について運用状況を開示する資料であり、生命保険契約の販売または当該投資信託の勧誘を目的とするものではありません。
- 当資料で開示される投資信託の運用状況等は、あくまで参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有しているわけではありません。特別勘定バランス型のユニットバリュー等については、「変額年金保険ディスクロージャー資料」にてご確認ください。
- 特別勘定バランス型のユニットバリューの値動きは特別勘定が投資している投資信託の値動きとは異なります。これは特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金等を保有していることや保険関係費用・運用に関する費用等の一部を控除することによるものです。
- 当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の運用成果を示唆または保証するものではありません。
- 当資料は、野村アセットマネジメント株式会社による運用報告を、プルデンシャル生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、プルデンシャル生命保険株式会社は一切の責任を負いません。

・主要投資対象

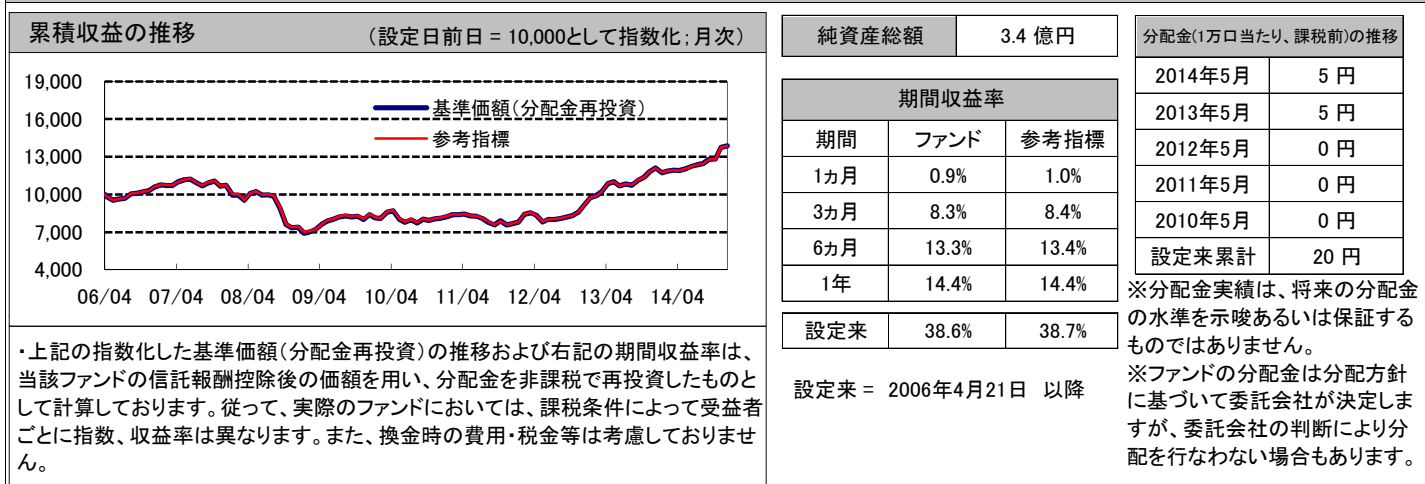
内外の株式および公社債。主に「国内株式マザーファンド」「外国株式MSCI-KOKUSAIマザーファンド」「国内債券NOMURA-BPI総合 マザーファンド」「外国債券マザーファンド」の各受益証券を通じて投資が行なわれます。

・運用方針

内外の株式、内外の債券を実質的な主要対象とし、信託財産の成長を目指して運用を行ないます。各資産の運用は後述の括弧内のインデックスへの連動性に配慮したインデックス運用です。各資産配分比率は、国内株式(TOPIX)22.5%、外国株式(MSCI-KOKUSAI指数(円ベース・為替ヘッジなし))27.5%、国内債券(NOMURA-BPI総合)20.0%、外国債券(シティ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース))30.0%を基本とし、原則1ヶ月毎に比率調整を行ないます。原則為替ヘッジは行ないません。

設定来の運用実績

2014年12月30日現在



資産内容

2014年12月30日現在

資産別配分			国・地域別配分			
資産	純資産比	内先物	株式		債券	
			国・地域	純資産比	国・地域	純資産比
国内株式	22.3%	0.5%	日本	22.3%	日本	19.9%
外国株式	27.6%	0.6%	アメリカ	17.0%	アメリカ	11.8%
株式計	49.9%	1.1%	イギリス	2.3%	イタリア	3.2%
国内債券	19.9%	-	カナダ	1.2%	フランス	3.1%
外国債券	29.6%	-	スイス	1.1%	イギリス	2.5%
債券計	49.5%	-	その他の国・地域	6.0%	その他の国・地域	9.0%
その他の資産	1.7%	-	合計	49.9%	合計	49.5%
合計(※)	-	1.1%				

※先物の建玉がある場合は、合計欄を表示していません。

・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

資産別組入上位5銘柄(マザーファンドベース)

2014年12月30日現在

【国内株式】

銘柄	業種	純資産比
トヨタ自動車	輸送用機器	5.0%
三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	2.5%
ソフトバンク	情報・通信業	1.8%
三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	1.6%
本田技研工業	輸送用機器	1.5%

【外国株式】

銘柄	国・地域	業種	純資産比
APPLE INC	アメリカ	コンピュータ・周辺機器	2.2%
EXXON MOBIL CORP	アメリカ	石油・ガス・消耗燃料	1.3%
MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア	1.2%
JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	医薬品	0.9%
WELLS FARGO CO	アメリカ	商業銀行	0.9%

【国内債券】

銘柄	種別	純資産比
国庫債券 利付(5年)第116回	国債	1.3%
国庫債券 利付(5年)第117回	国債	1.2%
国庫債券 利付(5年)第122回	国債	1.0%
国庫債券 利付(5年)第106回	国債	1.0%
国庫債券 利付(10年)第305回	国債	1.0%

【外国債券】

銘柄	国・地域	純資産比
US TREASURY N/B	アメリカ	0.6%
US TREASURY N/B	アメリカ	0.6%
FRANCE GOVERNMENT O.A.T	フランス	0.6%
US TREASURY N/B	アメリカ	0.6%
US TREASURY N/B	アメリカ	0.6%

【特別勘定バランス型が運用対象としている投資信託の運用レポート】(月次) 2014年12月30日 現在
ワールド・インデックス・ファンドVAバランス型 (適格機関投資家専用)

- ・当資料は、変額年金保険特別勘定のバランス型が運用対象としている投資信託について運用状況を開示する資料であり、生命保険契約の販売または当該投資信託の勧誘を目的とするものではありません。
- ・当資料で開示される投資信託の運用状況等は、あくまで参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有しているわけではありません。特別勘定バランス型のユニットバリュー等については、「変額年金保険ディスクロージャー資料」にてご確認ください。
- ・特別勘定バランス型のユニットバリューの値動きは特別勘定が投資している投資信託の値動きとは異なります。これは特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金等を保有していることや保険関係費用・運用に関する費用等の一部を控除することによるものです。
- ・当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の運用成果を示唆または保証するものではありません。
- ・当資料は、野村アセットマネジメント株式会社による運用報告を、ブルデンシャル生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、ブルデンシャル生命保険株式会社は一切の責任を負いません。

当月の運用環境

国内債券市場	低金利政策の長期化観測や、国内株式市場の下落などを受けて安全資産としての国債需要が高まったことなどを背景に、国内債券利回りは長期債中心に低下(価格は上昇)しました。
外国債券市場	堅調な経済指標を受けて米国債券利回りは短期債中心にやや上昇(価格は下落)しましたが、ECB(欧州中央銀行)による追加金融緩和期待やギリシャの政局不安などに伴う欧州株式市場の下落などを背景に、欧州債券利回りは低下(価格は上昇)しました。外国債券全体では値上がりとなりました。
国内株式市場	2014年7-9月期の実質GDP(国内総生産)成長率が下方修正されたことや、ロシア株式・通貨の急落、ギリシャの政局不安など欧州の不透明要因を背景に、東証株価指数(TOPIX)は下落しました。
外国株式市場	好調な経済指標などを背景に米国株式市場が上昇する一方、ロシア株式・通貨の急落やギリシャの政局不安などを背景に欧州株式市場は下落しました。外国株式全体では上昇しました。
為 替	米国の好調な経済指標などを背景に米ドルは対円で上昇(円安)しましたが、ECB(欧州中央銀行)による追加金融緩和期待やギリシャの政局不安などを背景にユーロは対円で下落(円高)しました。

当月の収益率

当ファンドが投資している「国内株式マザーファンド」、「外国株式MSCI-KOKUSAIマザーファンド」、「国内債券NOMURA-BPI総合マザーファンド」、「外国債券マザーファンド」の当月のパフォーマンスは、それぞれ-0.1%、1.3%、1.0%、1.1%となりました。それを受けて、当ファンドの当月のパフォーマンスは0.9%となりました。

積極型(2014年12月末現在)

当特別勘定の概要

国内外の株式および公社債を実質的な主要投資対象とし、積極的な資産の成長を目指して運用を行います。
この特別勘定は、野村アセットマネジメント株式会社が運用する投資信託「ワールド・インデックス・ファンドVA積極型(適格機関投資家専用)」で運用します。また、各資産への基本資産配分は、国内株式25%、外国株式55%、国内債券10%、外国債券10%とし、外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。

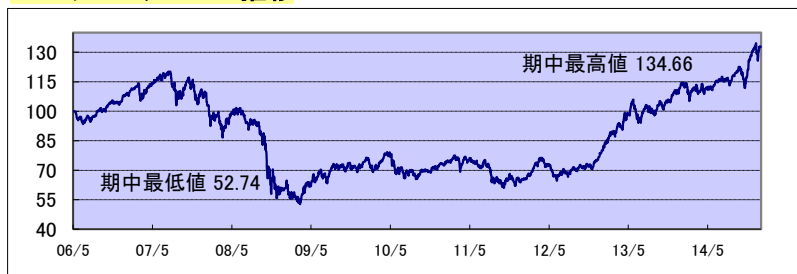
運用担当チームリーダーのコメント

積極的にリスクを取り、高い運用成果を獲得することを目標として、国内債券10%、国内株式25%、外国債券10%、外国株式55%を基本資産配分とした投資信託での運用を行っております。引き続き、高水準の組み入れ比率を保ってまいります。

* 運用担当チームリーダーのコメントについては、現時点での投資判断を示したものであり、将来の市場動向を保証するものではありません。

運用実績

ユニットバリューの推移



- * ユニットバリューとは、変額年金保険の各特別勘定設定時の資産を100として、その後の運用成果による資産の増減を指数で示したものです。
- * このグラフは過去の実績を示したものであり、将来の成果を予測するものではありません。

ユニットバリューの騰落率

期間	(%)
直近6ヶ月	14.74
直近1年	15.77
直近3年	102.93
直近5年	78.43
設定来	32.68

* この騰落率は特別勘定積極型全体についてのものであり、個々のご契約に対するものではありません。

資産の内訳(2014年12月末)

資産種類別

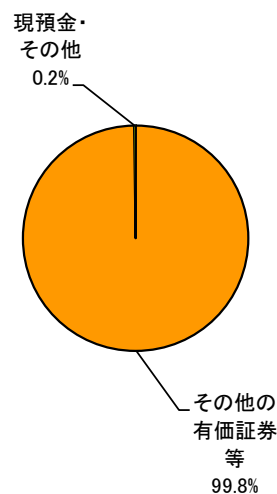
区 分	金額(百万円)
その他の有価証券等	166
現預金・その他	0
合 計	166

- * オフバランス取引はございません。
- * その他の有価証券等は、ワールド・インデックス・ファンドVA積極型(適格機関投資家専用)を指します。

保有銘柄

銘柄名	占率(%)
ワールド・インデックス・ファンドVA積極型 (適格機関投資家専用)	100.0

- * 占率はその他の有価証券時価残高に対してのものです。
- * ワールド・インデックス・ファンドVA積極型(適格機関投資家専用)は、「国内株式マザーファンド」「外国株式MSCI-KOKUSAIマザーファンド」「国内債券NOMURA-BPI総合マザーファンド」「外国債券マザーファンド」の各受益証券を主要投資対象として、投資を行います。
- なお、株式および公社債等に直接投資する場合があります。



ワールド・インデックス・ファンドVA積極型（適格機関投資家専用）

- 当資料は、変額年金保険特別勘定の積極型が運用対象としている投資信託について運用状況を開示する資料であり、生命保険契約の販売または当該投資信託の勧誘を目的とするものではありません。
- 当資料で開示される投資信託の運用状況等は、あくまで参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有しているわけではありません。特別勘定積極型のユニットバリュー等については、「変額年金保険ディスクロージャー資料」にてご確認ください。
- 特別勘定積極型のユニットバリューの値動きは、特別勘定が投資している投資信託の値動きとは異なります。これは特別勘定が投資信託のほかには保険契約の異動等に備えて一定の現預金等を保有していることや保険関係費用・運用に関する費用等の一部を控除することによるものです。
- 当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の運用成果を示唆または保証するものではありません。
- 当資料は、野村アセットマネジメント株式会社による運用報告を、ブルデンシャル生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、ブルデンシャル生命保険株式会社は一切の責任を負いません。

・主要投資対象

内外の株式および公社債。主に「国内株式マザーファンド」「外国株式MSCI-KOKUSAIマザーファンド」「国内債券NOMURA-BPI総合 マザーファンド」「外国債券マザーファンド」の各受益証券を通じて投資が行なわれます。

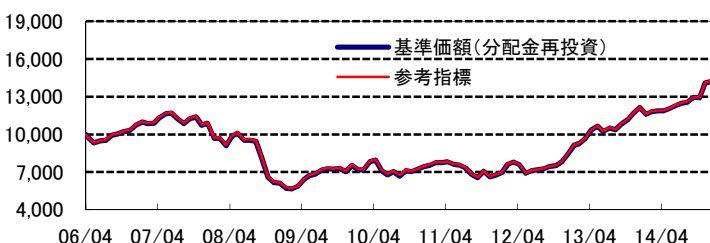
・運用方針

内外の株式、内外の債券を実質的な主要対象とし、信託財産の成長を目指して運用を行ないます。各資産の運用は後述の括弧内のインデックスへの連動性に配慮したインデックス運用です。各資産配分比率は、国内株式(TOPIX)25.0%、外国株式(MSCI-KOKUSAI指数(円ベース・為替ヘッジなし))55.0%、国内債券(NOMURA-BPI総合)10.0%、外国債券(シティ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース))10.0%を基本とし、原則1ヶ月毎に比率調整を行ないます。原則為替ヘッジは行ないません。

設定来の運用実績

2014年12月30日現在

累積収益の推移 (設定日前日 = 10,000として指数化; 月次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の期間収益率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

純資産総額 1.7 億円

期間収益率		
期間	ファンド	参考指標
1ヵ月	0.9%	0.9%
3ヵ月	9.8%	9.9%
6ヵ月	15.6%	15.6%
1年	17.3%	17.2%

設定来	42.1%	42.5%
-----	-------	-------

設定来 = 2006年4月21日 以降

分配金(1万口当たり、課税前)の推移

2014年5月	5 円
2013年5月	5 円
2012年5月	0 円
2011年5月	0 円
2010年5月	0 円
設定来累計	15 円

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

資産内容

2014年12月30日現在

資産別配分		
資産	純資産比	内先物
国内株式	24.7%	0.6%
外国株式	55.2%	1.2%
株式計	79.9%	1.7%
国内債券	10.0%	-
外国債券	9.9%	-
債券計	19.8%	-
その他の資産	2.0%	-
合計(※)	-	1.7%

※先物の建玉がある場合は、合計欄を表示しておりません。

国・地域別配分			
株式		債券	
国・地域	純資産比	国・地域	純資産比
アメリカ	34.0%	日本	10.0%
日本	24.7%	アメリカ	3.9%
イギリス	4.6%	イタリア	1.1%
カナダ	2.4%	フランス	1.0%
スイス	2.2%	イギリス	0.8%
その他の国・地域	12.0%	その他の国・地域	3.0%
合計	79.9%	合計	19.8%

・国・地域は、原則発行国・地域で区分しております。

・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

資産別組入上位5銘柄(マザーファンドベース)

2014年12月30日現在

【国内株式】

銘柄	業種	純資産比
トヨタ自動車	輸送用機器	5.0%
三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	2.5%
ソフトバンク	情報・通信業	1.8%
三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	1.6%
本田技研工業	輸送用機器	1.5%

【外国株式】

銘柄	国・地域	業種	純資産比
APPLE INC	アメリカ	コンピュータ・周辺機器	2.2%
EXXON MOBIL CORP	アメリカ	石油・ガス・消耗燃料	1.3%
MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア	1.2%
JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	医薬品	0.9%
WELLS FARGO CO	アメリカ	商業銀行	0.9%

【国内債券】

銘柄	種別	純資産比
国庫債券 利付(5年)第116回	国債	1.3%
国庫債券 利付(5年)第117回	国債	1.2%
国庫債券 利付(5年)第122回	国債	1.0%
国庫債券 利付(5年)第106回	国債	1.0%
国庫債券 利付(10年)第305回	国債	1.0%

【外国債券】

銘柄	国・地域	純資産比
US TREASURY N/B	アメリカ	0.6%
US TREASURY N/B	アメリカ	0.6%
FRANCE GOVERNMENT O.A.T	フランス	0.6%
US TREASURY N/B	アメリカ	0.6%
US TREASURY N/B	アメリカ	0.6%

ワールド・インデックス・ファンドVA積極型（適格機関投資家専用）

- ・当資料は、変額年金保険特別勘定の積極型が運用対象としている投資信託について運用状況を開示する資料であり、生命保険契約の販売または当該投資信託の勧誘を目的とするものではありません。
- ・当資料で開示される投資信託の運用状況等は、あくまで参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有しているわけではありません。特別勘定積極型のユニットバリュー等については、「変額年金保険ディスクロージャー資料」にてご確認ください。
- ・特別勘定積極型のユニットバリューの値動きは、特別勘定が投資している投資信託の値動きとは異なります。これは特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金等を保有していることや保険関係費用・運用に関する費用等の一部を控除することによるものです。
- ・当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の運用成果を示唆または保証するものではありません。
- ・当資料は、野村アセットマネジメント株式会社による運用報告を、プルデンシャル生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、プルデンシャル生命保険株式会社は一切の責任を負いません。

当月の運用環境

国内債券市場	低金利政策の長期化観測や、国内株式市場の下落などを受けて安全資産としての国債需要が高まったことなどを背景に、国内債券利回りは長期債中心に低下（価格は上昇）しました。
外国債券市場	堅調な経済指標を受けて米国債券利回りは短期債中心にやや上昇（価格は下落）しましたが、ECB（欧州中央銀行）による追加金融緩和期待やギリシャの政局不安などに伴う欧州株式市場の下落などを背景に、欧州債券利回りは低下（価格は上昇）しました。外国債券全体では値上がりとなりました。
国内株式市場	2014年7-9月期の実質GDP（国内総生産）成長率が下方修正されたことや、ロシア株式・通貨の急落、ギリシャの政局不安など欧州の不透明要因を背景に、東証株価指数(TOPIX)は下落しました。
外国株式市場	好調な経済指標などを背景に米国株式市場が上昇する一方、ロシア株式・通貨の急落やギリシャの政局不安などを背景に欧州株式市場は下落しました。外国株式全体では上昇しました。
為 替	米国の好調な経済指標などを背景に米ドルは対円で上昇（円安）しましたが、ECB（欧州中央銀行）による追加金融緩和期待やギリシャの政局不安などを背景にユーロは対円で下落（円高）しました。

当月の収益率

当ファンドが投資している「国内株式マザーファンド」、「外国株式MSCI-KOKUSAIマザーファンド」、「国内債券NOMURA-BPI総合マザーファンド」、「外国債券マザーファンド」の当月のパフォーマンスは、それぞれ-0.1%、1.3%、1.0%、1.1%となりました。それを受けて、当ファンドの当月のパフォーマンスは0.9%となりました。

変額年金保険保有契約高(2014年11月末現在)

項 目	件 数	金 額
変額年金保険	261 件	2,628 百万円

* このデータは2014年11月末のものです。

